

第15回日韓青少年冬季スポーツ交流（スキー競技受入）委託業務仕様書

1 事業の目的

この事業は、2002年サッカーワールドカップ大会の日韓共同開催を契機に、両国の中学生を対象にスポーツ交流を実施することにより、日韓両国の親善と交流をより一層深め、さらには両国のスポーツの振興を図ることを目的とする。

2 委託期間

契約の日から平成29年3月31日まで

3 委託契約額

1,700万円（税込）《本会予算上の上限額》

4 第15回日韓青少年冬季スポーツ交流（スキー競技受入）期間（以下「交流期間」という。）

平成29年1月8日（日）から14日（土）まで 7日間

5 交流計画

別紙1「交流日程（案）」による。

6 参加人員

別紙2「交流事業参加人員（予定）」による。

7 競技会場

(1) アルペン競技

水晶山スキー場（鹿角市）

(2) クロスカントリー競技

花輪スキー場クロスカントリーコース（鹿角市）

8 交流事業委託業務

- (1) 交流事業に係る宿泊及び食事の手配に関すること。
- (2) 交流事業に係る移動に伴う交通手段の手配に関すること。
- (3) 交流事業に係る視察・見学等の手配に関すること。
- (4) 交流事業に係る通訳・看護師の手配に関すること。
- (5) 交流事業に係るレセプション等公式行事の手配に関すること。
- (6) その他、公益財団法人秋田県体育協会（以下「本会」という。）が指示する業務に関すること。

9 委託業務の内容

(1) 業務全般について

- ① 交流事業に必要な事務について、本会の指示により代行すること。
- ② 本会の要請に応じて交流事業に必要な資料を随時整備し、提出すること。
- ③ 本会の要請に応じて交流事業に必要な各種会議に出席し、指示する事項の説明を行うこと。
- ④ 交流事業委託業務の進行管理資料を整備し、随時本会に報告すること。

(2) 宿泊について

- ① 交流事業期間中の宿舎は、本会が「湯瀬ホテル」を仮予約してあるので、日韓青少年冬季スポーツ交流にふさわしい宿泊内容とすること。
- ② 選手団、本部役員、通訳及び事務局が同一宿舎に宿泊できるものとする。
- ③ 国別に、本部役員・指導者・通訳は個室（1人1部屋）、選手は種目・男女別に1室につき2～4名の部屋割とすること。
- ④ 交流事業期間中、宿泊施設内に韓国語による必要な表示を行うこと。
- ⑤ 1泊あたりの宿泊費（1泊3食付）の上限は、1人13,300円とする。
- ⑥ 宿泊人数については、別紙2を参照すること。

(3) 食事について

- ① 交流事業期間中の全ての食事を手配すること。
- ② 選手団、本部役員の食事は、原則として宿泊施設で摂ることとする。ただし、練習又は試合日程及び施設見学等のため宿泊施設で摂ることが困難な場合は、関係者全員を収容できる飲食店を利用すること。なお、食事の手配にあたっては、以下の点に配慮すること。
 - ・食事はビュッフェ形式（キムチを含む）が望ましい。
 - ・ご飯（パン）、スープ類、ドリンクはおかわり自由が望ましい。
 - ・メニューは日韓両国語での表記が望ましい。
 - ・食物アレルギーのある参加者がいた場合、食べられる食品等への配慮をすること。
- ③ 競技役員の昼食は、スキー場内レストランで食べられるようにすること。
- ④ 交流期間中の全員の飲料（ミネラルウォーター・スポーツドリンク）を手配すること。飲料は1人当たり1日4本とする。ただし、参加初日及び最終日はミネラルウォーター2本とする。

(4) 移動について

- ① 日本団は、県内指定場所から乗車し、交流後は同場所で下車するものであること。
- ② 交流事業期間中は以下のとおり車両を手配すること。なお、バス1台あたりの見積金額は、高速道路等利用料金、駐車場料金等を含むものとする。
 - ・本部役員用バス（中型）…1台 1/8～1/14（7日間使用）
 - ・韓国選手用バス（大型）…2台（アルペン1台、クロカン1台）1/8～1/14（7日間使用）
 - ・日本選手用バス（大型）…2台（アルペン1台、クロカン1台）1/9～1/13（5日間使用）
 - ・韓国選手団荷物運搬用トラック（来日人数分のスーツケース及びスキー用具〈スキー板、スノーブーツ等〉を搭載可能な車種及び台数）※初日、最終日の2日間のみ手配
- ③ アルペン競技者用のリフト券を手配すること。なお、リフト券はIDカード兼用となることが望ましい。

(5) 視察・見学について

- ① 訪問地の歴史を紹介する施設や史跡等の視察見学を手配すること。
- ② 秋田県を代表する施設や自然等の視察見学及びショッピング等ができる場を手配すること。

(6) 通訳について

- ① 交流事業期間におけるすべての通訳を本会と協議のうえ手配すること。
- ② 通訳は、アルペン種目男女別に各1名、クロスカントリー種目男女別に各1名、本部役員に2名、計6名とすること。
- ③ 競技に係わる通訳は、日常会話及び担当競技の競技規則等を十分に理解したうえで通訳することができる者とし、本部役員の通訳は、日常会話のほか、競技視察、観光通訳及びレセプションでの日韓役員間の通訳ができる者とする。
- ④ 通訳は、交流事業期間中、担当する韓国団と同一の宿舎に宿泊するとともに、全ての日程に同行すること。

- ⑤ 通訳への謝金支払いにあたっては、個人領収書（要署名押印）を提出すること。
 - ⑥ 通訳への謝金は宿泊をする日は一人あたり1日15,000円、宿泊を要さない最終日は一人あたり10,000円を上限とする。
- (7) 看護師について
- ① 交流事業期間中、看護師は各競技会場に常時看護師1名を配置すること。
 - ② 看護師の配置期間は、練習日及び公式試合のある日とする。
 - ③ 看護師への謝金支払いにあたっては、個人領収書（要署名押印）を提出すること。
 - ④ 看護師への謝金は一人あたり1日10,000円を上限とする。
- (8) レセプションについて
- ① 歓迎会、歓送会の会場設営、アトラクション等を手配すること。
 - ② 歓迎会、歓送会の飲食を手配すること。
- (9) ミーティング等の会場について
- ① 日本及び韓国用の本部室を宿舍内に各1室用意すること。
なお、本部室はインターネット回線が引き込まれたものであること、または、無線LAN (Wi-Fi・無料) が利用可能であること。
 - ② 日本選手団及び韓国選手団のミーティング室を各1室用意することが望ましい。
 - ③ 上記①及び②は同一フロアとし、隣接することが望ましい。
 - ④ 宿舍及び競技会場に、日韓両国選手人数分のスキー用具（スキー板・スノーブーツ等）を保管可能なスペースを確保すること。
 - ⑤ 宿舍又は競技会場に、ワクシングルーム（ワクシングテーブル・バイスを含む。）を確保すること。
- (10) 印刷物及び物品等について
- ① ハンドブックの作成を手配すること。
 - ② 交流事業関係者全員のネームプレートの作成を手配すること。
 - ③ 本会の要請に応じて交流事業に必要な物品等を手配すること。
- (11) 看板について
- ① 横断幕の製作及び設置を手配すること。
 - ② 看板の製作及び設置を手配すること。
- (12) 現地インフォメーションデスクについて
- ① 宿泊施設内にインフォメーションデスクを設置すること。
 - ② 交流事業期間中の記録写真（報告書・ホームページ等掲載用）を撮影し、製本したもの1部及び写真データを本会へ提出すること。
- (13) 通信機器について
- ① アルペン競技及びクロスカントリー競技の両国指導者用無線機を手配すること。
- (14) 経費の支払いについて
- ① 交流事業委託事業の一部を専門業者に請け負わず場合は、あらかじめ本会の承認を得ること。
 - ② 上記①の場合、経費の支払いを行い、領収書等の証拠書類を本会に提出すること。
- (15) 緊急時の対応について
- ① 交流事業期間中における事故発生等、緊急時における本会の要請に対応できる体制を確立すること。
 - ② 緊急時の指定医療機関をあらかじめ手配すること。
 - ③ 緊急時の医療機関における対応の補助を行うこと。
 - ④ 傷害保険及び主催者賠償責任保険については公益財団法人日本体育協会において加入するが、必要に応じてその他の保険に加入する場合は、あらかじめ本会の承認を得ること。

(16) 契約について

- ① この仕様書に掲げる一切の業務を行うに当たり、本会と当該旅行代理店において業務委託契約を締結する。
- ② 契約額は、当該旅行代理店の見積に基づき本会が決定する。

印刷物、物品の規格

品 名	規 格
ハンドブック	A4版 表紙のみカラー刷り 表紙を除き40ページ程度 印刷内容は原則として電子データを提供（日韓両国語併記） 印刷部数300部程度
ネームプレート	ネックストラップ名札200個程度 名札台紙は日韓両国語併記
日本選手団ユニフォーム	トレーナー100着 デザインを含めた製作とする
飲料	500ml ペットボトル ミネラルウォーター・スポーツドリンク等 1日当たり1人につき4本（初日及び最終日は2本）
競技会場内横断幕	縦100cm×横800cm程度で日韓両国語併記 アルペン・クロスカントリー会場別に各1枚
競技会場立看板	縦120cm×横90cm程度で日韓両国語併記 アルペン・クロスカントリー会場別に各1枚
宿舎玄関用看板	縦120cm×横90cm程度で日韓両国語併記 宿舎入口に1枚
歓迎夕食会・歓送夕食会入口看板	縦120cm×横90cm程度で日韓両国語併記 歓迎夕食会・歓送夕食会別に作成 会場入口に1枚 ※「歓迎」「歓送」部分をシールで張替えての対応とする。
歓迎夕食会・歓送夕食会看板	縦100cm×横800cm程度で日韓両国語併記 歓迎会・歓送会別に作成 会場内に掲示 ※「歓迎」「歓送」部分をシールで張替えての対応とする。